

大垣西濃信用金庫（大垣市）



業 種：金融業
労働者数：717人

●行動計画期間：平成28年10月1日～平成31年3月31日

●育児休業取得実績：男性18名、女性22名が育児休業取得

●取組のきっかけや成果



人事労務担当者

子育てと仕事を両立できる職場環境整備を進めることにより、職員が能力を十分に発揮することを目的に行動計画を策定しました。
各種取り組みにより、職場内での相互理解が進み、働きやすい職場環境につながっています。今後も両立支援に向けた取り組みを継続していきます。

●働きやすい環境づくりのための取組

- 育児休業の取得について、男性1名以上、女性取得率90%以上の目標を定め、取得しやすい育児休業制度を導入し、取得促進に努め、目標を達成しました。
- 「働き方・休み方」の見直しにより所定外労働の縮減、年次有給休暇の取得促進に努め、ワークライフバランスを推進しました。
- 待機児童問題に対応するため育児休業期間を見直し、「育児休業者復職支援研修」を行い、職場復帰しやすい環境を整備しました。

●育児のための各種制度の整備や復職支援

- 法に先駆けて、育児休業を2歳まで利用できる制度を導入しました。
- 子の養育を容易にするための措置（所定外労働の制限ならびに育児短時間勤務制度）を小学校3年生の終了まで利用できる制度を導入しています。

●従業員の声



育児休業取得後の復職はとても不安でしたが、「育児休業者復職支援研修」に参加することで、職場の現状や事務取扱が変わったこと等を教えていただき、また同じように不安に思っている育児休業中の方と情報交換ができ、安心して復職を迎えられました。復職後も、育児短時間勤務制度を利用し、子供と関わる時間をできるだけ多くしながら、仕事と両立しています。何よりも周りの方々の理解があり、制度を利用している職員もたくさんいるので、働きやすく毎日楽しく仕事できています。

（育児休業を取得した女性従業員より）

子供の食事の準備やお風呂など、育児の大変さを改めて感じたと同時に、妻や家族への感謝の気持ちがより強くなりました。
また、子供と過ごす時間が増えたことで、家族の絆が深まりました。

（育児休業を取得した男性従業員より）

